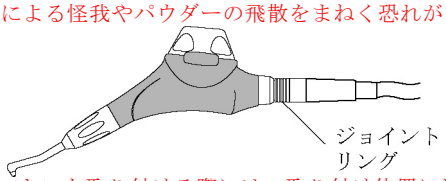
2016年4月　第13版（新記載要領に基づく改訂）　　認証番号　21900BZX00750000
2013年8月　第12版

機械器具62　歯科用切削器（歯科材料9　歯科用研削材料）
管理医療機器　能動型機器接続歯面清掃用器具　JMDN：70707022（一般医療機器　歯面研磨材　JMDN：70904000）

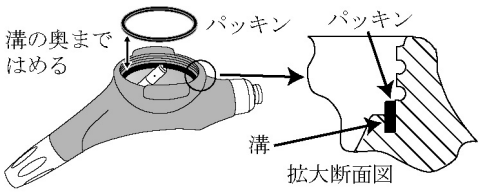
クイックジェットM

【警告】

1. 本製品にクイックジョイントを接続する時、ロック音がして確実に固定されたことを確認すること。また、ヘッド部、パウダーキャップがしっかりと固定されていることを確認すること。[固定が不確実な場合、使用中に本体やヘッド部、パウダーキャップの外れによる怪我やパウダーの飛散をまねく恐れがある]
2. 本製品の使用中には絶対にクイックジョイントのジョイントリングを後方に引かないこと。また、使用中には絶対にヘッド部、パウダーキャップを取り外さないこと。[本体やヘッド部、パウダーキャップの外れによる怪我やパウダーの飛散をまねく恐れがある]



3. パッキンを取り付ける際には、取り付け位置に注意して正しく取り付けること。[正しい位置に取り付けられていない場合、使用中にパウダーキャップの外れによる怪我やパウダーの飛散、パウダー漏れをまねく恐れがある]



【禁忌・禁止】

適用対象（患者）

1. 次の患者には使用しないこと。
・重篤な消化器官潰瘍のある患者
・腎臓障害のある患者
・心機能障害、肺機能障害のある患者
2. 炭酸水素ナトリウムが主成分のパウダー（Qパウダー レモンフレーバーおよびQパウダー オレンジフレーバー）を使用する場合は、上記に併せて下記の患者にも使用しないこと。
・ナトリウム摂取制限を必要とする患者（高ナトリウム血症・浮腫・妊娠中毒症など）
・低クロル性アルカローシスなどの電解質失調のある患者
3. 上記以外でも次の患者には使用を避けること。
・口腔内に傷や異常の認められる患者
・口腔内に充血、出血、炎症が認められる患者
・口腔粘膜が炎症・ただれを起こしやすい患者
・アレルギー体質の患者
・コンタクトレンズを装着している患者
4. 患者の体質により、ごくまれにアレルギー症状や口内炎などを起こす場合があり、症状が認められた場合は使用を中止すること。

使用方法

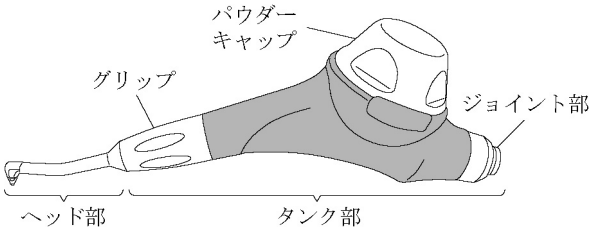
1. 専用パウダー以外は、使用しないこと。
2. パウダーを再使用しないこと。
3. パウダーは必ずパウダーキャップ側に補充すること。
4. 歯肉縁下、根管、抜歯窩などへ噴射しないこと。[気腫などの偶発症を引き起こす恐れがある]
5. 口腔内の軟組織(歯肉、粘膜)に直接噴射しないこと。[表面に損傷などの偶発症を引き起こす恐れがある]

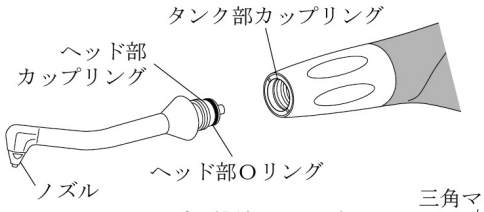
【形状・構造及び原理等】

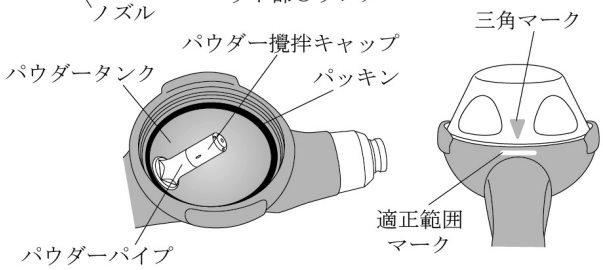
体に接触する部分の組成

・ステンレス鋼
ヘッド部、グリップ、ジョイント部
・ポリエーテルイミド
タンク部、パウダーキャップ
・炭酸水素ナトリウム
Qパウダー レモンフレーバー、Qパウダー オレンジフレーバー（届出番号：13B2X00043000001）
・グリシン
Qパウダー ファイン、Qパウダー エクストラファイン（届出番号：13B2X00043000001）

形状







作動・動作原理

圧縮空気によって付勢されたパウダーを、圧縮空気と水と共にノズルより噴射し、歯面から歯垢や着色物を除去する。

仕様

パウダー消費量	4g/min（空気手元圧力0.4MPa時）	
空気手元圧力	0.25～0.4MPa（約2.5～4.1kgf/cm²）	
空気消費量	10L/min（空気手元圧力0.4MPa時）	
水流量	40ml/min（冷却水量圧力0.2MPa時）	
全長	193mm	
重量（パウダー含まず）	QUICK JET M	132g
	QUICK JET M-ST	131g

【使用目的又は効果】

使用目的

本製品は歯科医師が歯科治療において、患者の歯の清掃または研磨のため、能動型医療機器に接続し、水流または空気流を利用して粉末の研磨材を吹き付ける時に用いる。

取扱説明書を必ずご参照ください。

【使用方法等】

使用方法

1. 歯垢除去時
   1. ヘッド部、パウダーキャップをタンク部に取り付ける。
   2. ジョイント部に歯科用ユニットより延伸するタービンホースを接続する。
   3. 歯科用ユニットのフットスイッチを操作して圧縮空気のみを供給し、1 分間の空運転を行う。
   4. タービンホースを取り外し、パウダーキャップにパウダーを補充する。
   5. タービンホースを接続し、歯科用ユニットのフットスイッチを操作して圧縮空気と水を供給する。
   6. ノズルより噴射されるパウダー、圧縮空気および水の混合流体を歯面に当てて歯垢や着色物を除去する。

使用方法に関連する使用上の注意

1. 本製品に強い衝撃（落下など）を加えないこと。落下等の衝撃を加えた場合は使用を中止し、タンク部およびパウダーキャップを併せて点検・修理を依頼すること。
2. 本製品にクイックジョイントを接続する時、ロック音がして確実に固定されたことを確認すること。また、ヘッド部、パウダーキャップがしっかりと固定されていることを確認すること。
3. 本製品の使用中には絶対にクイックジョイントのジョイントリングを後方に引かないこと。また、使用中にはヘッド部、パウダーキャップを取り外さないこと。
4. 本製品の手元圧は 0.25～0.4MPa(約 2.5～4.1kgf/cm^2) の範囲内で設定すること。また、㈱ヨシダ製エアタービン接続時で手元圧が 0.22MPa（約 2.2kgf/cm^2）であることを確認すること。
5. ノーバック仕様のユニットで使用する場合、使用前に本製品を装着し、手元圧が 0.25～0.4MPa（約 2.5～4.1kgf/cm^2）の範囲内であることを確認すること。また、クイックアダプタ+他社タービンホースを使用する場合、排気流量がメーカーにより異なるため、手元圧が適正か確認すること。
6. パウダーキャップの三角マークが本体の適正範囲マークを超える位置にある状態での使用は、パウダータンク、パウダーキャップのネジ部の早期消耗や亀裂、破損につながる恐れがある。
7. パウダータンク、パウダーキャップのネジ部およびパッキンのシール面に付着したパウダーを除去すること。
8. 使用の際には術者、アシスタントとも常時保護メガネ、防塵マスクを着用すること。万一目に入った場合は、すぐに大量の水で目を洗浄し、眼科医の診断を受けること。
9. 治療の際にはQドレープ、タオル、保護メガネなどで患者を保護すること。
10. 長時間の連続使用は避け、患者には随時十分にうがいをさせること。
11. 本製品を指定の最高滅菌温度を超える高温になるもの（火気など）に近づけないこと。
12. ヘッド部の回転は、ヘッド部ではなくグリップを持って回転させること。
13. 使用時には、ユニットのオプチカスイッチを切ること。
14. 使用前には、パウダーを空にした状態で 1 分間の空運転を行うこと。
15. パウダーを補充した後は本体を振らないこと。
16. パウダーの補充直後はノズルから大量のパウダーが噴射される場合があるので、使用前にスピットンなどに向けて 1 秒間程度 1～2 回噴射して、本体が正常動作することを確認してから使用すること。
17. 使用時には必ず十分な水を併用すること。
18. クラウンなど修復物へ直接噴射しないこと。
19. 噴射したパウダーをバキュームで吸引・回収しながら使用すること。
20. フットコントローラーを離してから約 2～3 秒間は、パウダータンク内の残圧によってパウダーが噴射されるので、軟組織を損傷しないようバキュームで吸引、カバーすること。

【使用上の注意】

その他の注意

1. 使用前にアルコール清拭およびオートクレーブ滅菌を行うこと。
2. ヘッド部、タンク部カップリング、パウダータンク、パウダーキャップに付着した水分や油分、パウダーは除去すること。
3. タービンホースのクイックジョイントおよび本体ジョイント部の内部に付着した水分、油分は除去すること。
4. 必ず乾燥したエアーとパウダーを使用すること。
5. Qパウダー レモンフレーバーおよびQパウダー オレンジフレーバーを使用する場合、個包装開封後は使い切り、残りは廃棄すること。
6. 口腔内のパウダーを患者が大量に嚥下しないように注意すること。
7. 処置後 2～3 時間はお茶、コーヒーなど着色作用の強い飲食物の摂取や喫煙をしないよう患者に指導すること。

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

1. タンク部、ヘッド部は十分に乾燥させて保管すること。

耐用期間・使用期間

製造出荷日から、正規の保守点検を行った場合に限り 5 年とする。ただし、消耗品については使用頻度によって 5 年以内の交換が必要となる。
[記載の耐用期間は、自己認証（当社データ）による]

消耗品

1	ヘッド部
2	パウダーキャップ
3	ヘッド部Oリング
4	パッキン
5	Qパウダー（使用期限については医療機器添付文書およびラベルを参照）

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

1. 毎回の使用前にパウダータンク、パウダーキャップのネジ部に消耗や変形、亀裂などの異常がないことを確認すること。異常が見られる場合には使用を中止し、タンク部およびパウダーキャップを併せて修理を依頼すること。
2. 滅菌は患者ごとに必ず行うこと。
3. 本製品は注油を行わないこと。
4. 診療終了後にパウダーキャップに残ったパウダーは廃棄すること。
5. 本製品の洗浄には超音波洗浄器を使用しないこと。
6. 滅菌前、診療終了後には、本体内部および各部に付着したパウダーを除去すること。特にパウダータンク内とネジ部、パッキン、パウダーキャップネジ部はパウダーが付着し残りやすいため、念入りに洗浄すること。
7. 滅菌前、診療終了後には本体の水抜きをすること。
8. 最高滅菌温度は摂氏 135 度のため、オートクレーブ滅菌器の設定は摂氏 121 度で 20 分、または摂氏 132 度で 15 分とすること。
9. パウダータンク内部にパウダーが入った状態で滅菌を行わないこと。
10. 薬品が付着している器具とは一緒に滅菌器にかけないこと。
11. 消毒液の中に本体をそのままつけないこと。
12. 消毒の際には、アルカリ性の消毒剤および酸化電位水（強酸性水、超酸性水）を使用しないこと。
13. 乾熱滅菌など、指定の最高滅菌温度を超える滅菌は高温のため、避けること。
14. 滅菌器の状態や滅菌方法によっては、本製品が変色する場合がある。
15. タンク部は合成素材でできているため、オートクレーブ滅菌などの影響により、まれに細かな損傷が発生することがある。なお、安全確認のためにオートクレーブ滅菌 250 回、または、2 年に 1 度の保守点検を受けることを勧める。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

発売元
株式会社ヨシダ
〒110-8507　東京都台東区上野 7-6-9
TEL 03-3845-2941（営業本部　機械部直通）
FAX 03-3845-2948

製造販売元
株式会社ミクロン
〒146-0082　東京都大田区池上 2-17-7
TEL 03-3755-0396（代）　　FAX 03-5747-5396

製造元
株式会社ミクロン

取扱説明書を必ずご参照ください。